

角形有孔マルチの効果確認試験

JA帯広大正

川岸 聖樹



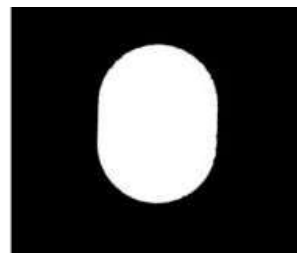
H30.5.23 試験品



H30.5.23 試験品



H30.5.23 試験品



慣行品(楕円)の形

試験目的

大根に対する角形有孔マルチの効果確認

試験作物 及び品種

大根(KSP)

試験資材 及び数量(規格)

有孔マルチ 角形加工(60mm×80mm)
シルバー7.5%(0.02mm×130cm×400m) 30本

慣行資材

有孔マルチ 楕円加工
有孔マルチ 角形加工(60mm×80mm)※他社品

栽培方法

播種日
5月23日

収穫日
7月29日

【栽植密度】
畝幅：45cm
株間：17cm

資材使用期間

5月23日～7月29日

試験区面積

30,000㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

楕円型の孔と比較し、正確に孔の中心に播種されるようになった。播種の位置がずれた際の手作業で調整する必要がなくなったため、作業がとても楽になった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

今年は天候の影響で収穫が大幅に遅れてしまったため判断できない部分もあるが、播種作業がうまくいったことで生育も順調に進んだと思う。来季も引き続き生育状況に注意して確認したい。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：慣行品と変わらない。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

慣行品と変わらない。

(5)促成・抑制効果について

慣行品と変わらない。

(6)保温効果について

慣行品と変わらない。

(7)雑草・病害虫の発生について

慣行品と変わらない。

モニター感想

試験品は、センサーの感知が均一になったので正確に孔の中心に播種されるようになった。また、多少のずれが生じても孔の端に収まるようになったので、手作業でマルチの孔を調整する必要がなくなった。

作業効率がとても上がったので、来季以降も継続して利用したい。

JA担当者の感想(青果課 横山氏)

大根の播種作業は、他の作物と比較して非常に難しい。正確な播種が行われることで作業の省力化に加え、大根の増収に繋がるとも考えられる。非常に魅力的な商品であると思うので、来季に向けて他の生産者方にも角形有孔マルチを提案していきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。
価格次第ではあるが、角形有孔マルチはとても魅力的な商品だと思うので、普及していくと思う。

将来希望する資材について

展張作業を少しでも省力化するために、マルチの長尺品が欲しい。

1 栽培システム

2 施設システム

3 製地フィルム

4 マルチ

5 不織布

6 育苗資材

7 防虫ネット

8 防除資材

9 ICT機器

10 その他